

《至誠 剛健 協同》

ふるさとを愛し ころも豊かで
未来を切り拓く 香住っ子の育成

おお まつ
大松



香住小学校 学校だより
第6号
令和8年10月14日
香美町立香住小学校

5年生自然学校 ～一致団結！～挑戦・礼儀・喜び～

「一致団結！～挑戦・礼儀・喜び～」をテーマに、5年生が4泊5日の自然学校を実施しました。初日と2日目はあいにくの雨となりましたが、子どもたちは気持ちを切り替え、意欲的に活動に取り組みました。

初日は、香住高校の生徒の皆さんにお世話になり、「缶詰づくり」と「せり体験」に挑戦しました。慣れない包丁を使ってサバをさばき、初めての体験に興味津々の子もたちでした。

2日目は登山が中止となりましたが、「木の殿堂」を経由して「但馬高原植物園」まで約3kmの道のりを歩きました。山から水が流れる悪路も、力強く踏みしめながら進む姿が印象的でした。

3日目は飯ごう炊さん。火おこしから調理、後片付けまで班で協力し、苦勞して作ったカレーライスをおいしくいただきました。夜には満天の星空、そして天の川を観察し、自然の美しさを満喫しました。

4日目のスタンプラリーでは、班で協力して森の中のポイントを回りました。最後のキャンプファイヤーでは、各班が工夫を凝らした出し物で盛り上がり、最後は静かに燃えるファイヤーを見つめ、5日間を振り返りました。ダンスをためらう友達に向けた「楽しみなきや自然学校の思い出が一つ減ってしまう」という言葉も心に残りました。何事にも一歩踏み出して挑戦することの大切さを教えてくれる言葉です。

山あり谷ありの5日間でしたが、何より5年生66名全員が参加できたこと、そして様々な体験を通して自分や友達のよさを発見し、仲間と協力しながら最後までやり遂げたことは、大きな成長です。5年生の皆さん、感動をありがとう。

保護者の皆様、準備や送り出しにご協力いただき、ありがとうございました。家族と離れて過ごす中で、家族への感謝や家庭のありがたさも改めて感じたことと思います。仲間と力を合わせ、困難を乗り越えた経験は、これからの大きな自信につながるはずです。

「体験は宝」。この5日間で得た貴重な宝を、これからの学校生活や様々な行事で生かして欲しいと願っています。

4年生飛行機体験行ってきました

9月15日（火）と9月17日（木）に、4年生が飛行機体験で大阪市へ出かけました。初めて飛行機に乗るという児童が多く、出発前は、緊張のためかやや口数が少なくなるような場面も見られましたが、終始笑顔で活動ができました。自分の眼下にある雲海や、飛行機から見下ろすふるさと兵庫の景色など、普段では見ることが出来ない光景にあちらこちらから感嘆の声が聞かれました。昼食に訪れた万博公園、そして生き物を間近で感じられた「ニフレル」、子どもたちにとって忘れることのない貴重な体験ができたようです。

折り鶴集会で平和を誓う ～グッドフレンドタイム～

9月11日(金)に折り鶴集会を行いました。これは、81年前に広島と長崎に投下された原子爆弾による悲惨な戦争を二度と繰り返さないよう、恒久平和を誓うための平和学習として毎年この時期に行われているものです。昭和20年8月6日、当時2歳で被爆し、10歳の時に白血病を発症しこの世を去った佐々木禎子(ささき さだこ)さんの、病気の快方を願って病院で折り続けた鶴の話から、そのことがきっかけで広島の平和記念公園に全国から千羽鶴が届けられるようになり現在に至ります。折鶴集会はオンラインで行いましたが、まずは私からの講話の後、動画「Orizuru さだ子さんと原爆の子の像のお話」を視聴しました。その後、平和の願いを込めた千羽鶴を、ペア学年の活動として1年生から6年生まで全校生で丁寧に折りました。上級生が下級生に対して鶴の折り方を上手に教えます。そんな姿から、小さな平和を積み上げていくことが、大きな平和につながるものだと実感しました。全校生の手で折った千羽鶴は6年生が修学旅行で訪れる広島記念公園で捧げ、香住小を代表して恒久平和を祈りたいと思います。

後期児童会役員立候補者演説会

9月16日(水)に後期児童会役員選挙が行われました。今回は6年生6名、5年生4名が立候補し、それぞれ熱のこもった演説を披露してくれました。

特に印象的だったのは、多くの立候補者の口から「あいさつ」「安全」「笑顔」「楽しい」「時間を守る」「けじめ」「靴(スリッパ)そろえ」といった、学校生活を良くするための具体的なキーワードが次々と飛び出したことです。全校生の前で自分の考えを堂々と発表することは、本当に勇気があることです。その挑戦する姿に心から感心しました。

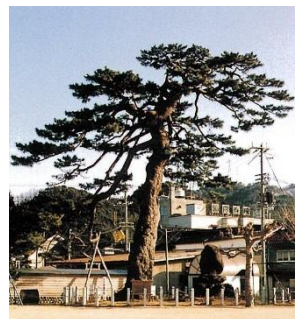
また、今年度統合した柴山小学校から立候補してくれた児童がいたことも、大変うれしい出来事でした。約400名の児童・教職員の前で勇気を振り絞って語られた言葉は、間違いなく全校生の心に届いたはず。そして、立候補者全員の熱意に応えるように、真剣な態度で演説に耳を傾けていた全校生の聞く姿勢もまた、素晴らしいものでした。

選挙の結果、5・6年生からそれぞれ4名ずつが選出され、これからの児童会を引っ張っていくことになります。選ばれた役員たちは、惜しくも選ばれなかった仲間の思いも背負って全力を尽くしてくれることでしょう。力を尽くした10名全員の「学校を良くしたい」という強い思いこそが、我が校の大きな宝です。今回選ばれなかった児童も含め、この素晴らしいやる気を次のステージで大いに活かしてくれることを期待しています。

10月1日は第131回創立記念日

明治28年(1895年)9月1日、香住・森・下浜・一日市の尋常小学校が合併し、香住尋常小学校となり、さらに10月1日、高等科が設置され香住尋常高等小学校となり、この日をもって本校の創立記念日としました。創立記念日を振り返り、先人の労苦と町民の皆様の気持ちに感謝しながら、もう一度、子ども達と大切なことを考える機会としたいものです。

☆うれしいお知らせ：児童からお誕生日メッセージ、いただきました！



典禮社様からのデジタルカメラ寄贈について(ご報告)

このたび、典禮社様より、デジタルカメラを8台寄贈していただきました。

学校では、日々の授業や学校行事、児童の活動の様子を記録するなど、さまざまな場面で写真を活用しています。今回寄贈いただいたデジタルカメラも、児童の学びや成長の記録を残すために、大切に活用させていただきます。子どもたちの教育活動を温かく支えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。